

高退協 ニュース

高退協事務局

1981. 5.

No. 9

総会報告
会長あいさつ
「いごっそう」の履歴書
県退教協加入について
事務局よりお願い

盛会のうちに 本年度総会おわる

副会長 浜田昌俊

本年度総会は四月十八日教育会館でひらかれ、今まではなく盛会でありました。夜谷会長の力強い挨拶、昨年度の活動報告、会計報告、諸役員の出発が行われ、そして次の通り本年度の事業計画が決定されました。

- ① 会員名簿の発行
- ② ニュースの発行
- ③ 機関誌の発行
- ④ 会員相互の研究と親睦
- ⑤ 教育相談活動
- ⑥ 民主連合体との情報交換

会員の力強い支援によって、事業を更に発展させる決意をかためました。終了後、「退教組合員」を励ます会に合流し、長い間の労をねぎらいました。

昭和五十六年度役員

- | | |
|-------|-------|
| 会長 | 夜谷 肇 |
| 副会長 | 西内 満夫 |
| 総務局長 | 浜田 昌俊 |
| 常任委員長 | 田所 剛雄 |
| 常任委員 | 富永 三雄 |
| 常任委員 | 高島 明子 |
| 常任委員 | 平野日出男 |
| 常任委員 | 飯高 一正 |
| 監査委員 | 中岡 鉄夫 |
| 監査委員 | 安岡 美代 |

あいさつ

会長 夜谷 肇

風薫る五月、新緑の爽やかな季節となりました。
会員の皆さん、お元気ですか。特に本年退職された教職員の皆

さん、長い間きびしい権力との対決のなかで、高教組に結果し項張りのなかで、ほんとうにご苦労された。皆さんの中には再就職されて新しく出発される方、趣味を楽しまれる方などさまざまでしょう。いづれにしてもこれからの人生は長い。健康には充分留意され頑張ってくださいたいと思います。

高退協も発足して六年、地道ではあります。ニュース・機関誌の発行等を通じて、会員相互の友情と連帯を築くと同時に、経済的・社会的・政治的地位の向上のために活動し、一定の成果をあげてきました。

これからも、会員の皆さんのご協力をえて、第二の人生といわれる退職後の生活を、心豊かに、明るく、楽しく、価値あるものとするために、高教組をはじめ関係民主諸団体と「力」を合わせて活動し、高退協の一層の発展のため努力したいと考えています。

皆さんのご支援を心よりお願いいたします。(56・5・6)

「いごっそう」の履歴書

山本広喜先生の

遺稿出版にあたって

成瀬孝一郎

山本広喜先生が千葉で他界されたのは一九七九年十月二十四日。あれからももう一年半。まことに早いものです。その山本先生の葬儀の折、祭壇の前に供えてあった厚な原稿をお見せいただいた驚きでした。なんと四百字詰、四百枚の遺稿で、「いごっそう」の履歴書と宛打ってありました。普通にいえば、自殺伝という所です。だが山本さんは、七十余年の生涯を顧みながら、自分を「いごっそう」と断じたのです。これは自らを知ること深く、自ら信ずること厚きものがなければ、容易に断ずることとできません。そして山本さんを知り、これを聞くほどの方は、恐らく、山本さんの自己断定に異論なく、ご賛同いただけると思われまふ。

山本さんは、まさに平々凡々、

平々凡々の人でした。別段の主義もせず、別段の異を唱えることもなく、変化は多いが、その中を、水の流れるように生涯を生きぬいた人でした。しかし眼を澄ましてよく見れば、外面には見えない性格が貫いていました。科学者の精神、合理的精神とともに、不正不義と権力に屈することをゆるさず、その線に自己を賭けて立つ人でした。ここが山本さん独特の「いごっそう」、風格のある「いごっそう」として尤ものがあります。そして山本さんが、生徒や先生や父兄から敬愛され、親しまれたのも、この「いごっそう」のゆえでしょう。

山本さんは、この遺稿を、自分の子や孫にだけは語ってみたいという、いたって内輪の動機でペンを走らせたのでした。しかし、山本さんを亡った知友にとっては、ぜひこれは出版して、より多くの人々に愛読してもらいたい、という要望が盛り上って、この書の出版になったのでした。

内容は、少年時代・中学・高校・大学へ、そして旧満洲の満鉄へ、さらにはベトナム等の旧仏印へ、戦後、高教教師、山田高校長、そこで例の勤労闘争の一幕、豊成免職や山田高校事件、その最中に今夫人を亡われた悲しみ、そして先輩勉分の撤回の大勝利など、写真・図解等を付して、まことによくまとまった一冊です。

日六版、二五〇ページ前後、価一五〇〇円の予定。五月末発行。そしてその直後、知友の諸方とともに、出版を祝して記念集会をもちたいと思います。

編集は、杉本恒星氏を委員長とする、八名の協力によりました。どうか各方面のご愛読を賜わらんことを。

事務局よりお願い

- 退職者共済に加入希望者は、事務局まで連絡して下さい。
- 会費納入をお願いします。
- 同封の振替用紙を利用して、「会費・年間 一〇〇〇円」のご送金をお願いします。

県退教協に加入し 県教組・日教組と 一体的な運動の 発展を訴えます

高知県教職員組合
執行委員長 西森 隆

高退協の皆さん、日頃から県教組運動へのご支援、ご協力を感謝申し上げます。

さて、高知県退教職員連帯協議会(略称・県退教協)は、いよいよ六月一日に結成大会のはこびとなりまふ。

戦争前後を想わせるような危険な状況のもとで、教育面でも、戦後先輩方が培ってきた民主教育を根底から崩壊させようとしています。また、退職者のくらしは、公共料金の上昇、物価高、医療費などによって、年金はほぼ自給一円で、生活は任意化されています。退職教職員の皆さんの広範な連絡が重要な時です。

県退教協は、日教組と連帯する全国退教協に加盟し、県教組・支部教組とともに、年金・医療など全国的な諸要求実現の運動を展開させる組織です。

県退教協は、当面、県教組と同じく各都市高教組単位とし、県並に各支部教組と一体的に運動を展開させる組織にしています。さらに、将来的には、退職教などとも連合し、県下の教職員が退職後大きく連帯していく組織となるように構想しています。

県退教協は、日教組退職者共済に加入資格が自動的に発生する組織であり、現職組合員とはほぼ同じ条件で加入でき、また、将来にわたって、加入・継続・給付などを断つて、忘れがちな事務手続きなどのお世話もさせていただくこととなります。

高退協の先輩の皆さん
この際ぜひ県退教協に加入し、県教組・日教組運動を発展させる原動力になってくださるようお願いします。県退教協への加入を心から訴える次第です。

諸先輩のご健康とご健闘を心から祈り申し上げます。